

シェドラー0.2%寒天培地(ビタミン K3 添加) (SCHAEDK3 0.2%-T)

Schaedler Broth with 0.2% Agar + vit. K3 (SCHAEDK3 0.2%-T)

嫌気性菌の培養

42098 試験管培地 20本(13mL)

保管方法

有効期限まで 2-25°Cで保管します。

組成(g/L)

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：

カゼインペプトン(ウシ)	8.2g
ブドウ糖	5.8g
酵母エキス	5g
トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン	3g
肉ペプトン(ウシまたはブタ)	2.5g
NaCl	1.7g
ソイペプトン	1g
K ₂ HPO ₄	0.8g
L-システイン	0.4g
ヘミン(ブタ)	0.01g
ビタミン K3	0.5g
寒天	2g

pH7.6

原理

本培地は特に嫌気性菌の発育に適しています。培地中の還元能および発育因子(ヘミン、酵母エキス、ビタミン K3)により、嫌気性菌の発育が促進されます。寒天により、培養中の培地の再酸化が制限されます。

使用法

- 気泡をつくらないように注意しながら、検体を直接培地の中央部に、試験管の底まで穿刺します。継代培養の際も同様にします。
- キャップに封をし、37°Cで培養します。最新の標準法に従い、用途に応じて適切な温度で培養して下さい。通常、48時間培養後に結果を確認します。培養時間は検体の種類や目的とする微生物により変わります。

注意：使用前に培地を再溶解する必要はありません。不活性化ガスが充填され、培地は嫌気状態に保たれています。

判定

培養後、菌の発育(培地が濁るか、穿刺した中心部に発育)を確認します。

適切な培地(シェドラー5%ヒツジ血液寒天培地、シェドラーネオバンコ 5%ヒツジ血液寒天培地等)に継代培養して下さい。

使用上の注意

- in vitro* 試験のみにおいて使用してください。
- 熟練者が使用してください。
- 本培地は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。従って、これらは潜在的に感染の可能性があるものとし、充分ご注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。

- 全ての検体、微生物培地、そして検体を接種した伝染性であるものとして適切にお取り扱いください。試験に用いる細菌グループの無菌操作と通常操作の留意事項は以下のガイドラインに基づきお取り扱いください。安全ガイドライン：“CLSI/NCCLS-M29-A, *Protection of Laboratory Workers From Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline—Current Revision*”。**操作留意事項**：Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories—CDC/NIH—Latest edition、または各国の規制ガイドラインに従ってください。
- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 有効期限切れの製品は使用しないで下さい。
- コンタミしている培地は使用しないで下さい。
- ご使用前に、キャップに破損がないことをご確認下さい。
- 培地中に死菌が存在することもあります。培地の性能に影響はありません。
- 本培地は取扱い説明書に記載されている操作方法に従ってご使用下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。

品質管理

プロトコール：

培地の栄養能力は、次の菌株を用いて試験します：

- Bacteroides fragilis* ATCC[®] 25285

期待される結果範囲：

試験菌を 33–37°Cで 48時間培養し、発育が認められることです。

注意：地域の適切な規制(頻度、菌株数、培養温度等)に従い、培地の意図した使用を考慮に入れて品質管理を実施することは、使用者の責任です。

留意事項

- 微生物の発育の度合いは各個体の要求性により異なります。したがって、特殊な要求性を有する菌株は発育しないこともあります。

性能

37°Cの条件下、嫌気性菌 20 菌株を用い評価されました。

栄養性能：

20 菌株中 18 菌株が 48 時間以内に発育しました。

2 菌株(*Porphyromonas* および *Eubacterium*)は 48 時間後に非常に弱い発育を示しました。

廃棄処理








未使用の試薬は、有害化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。

使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

参考文献

1. RODLOFF A.C., APPELBAUM P.C., ZABRANSKY R.J. - Practical anaerobic bacteriology. - American Society for Microbiology, 1977, Cumitech 5A.
2. SCHAEGLER R.W., DUBOS R., COSTELLO R. - The development of the bacterial flora in the gastrointestinal tract of mice. - *J. Exp. Med.*, 1965, vol. 122, p. 59-66.
3. STALONS D.R., THORNSBERRY C., DOWELL V.R. - Effect of culture medium and carbon dioxide concentration on growth of anaerobic bacteria commonly encountered in clinical specimens. - *Appl. Microbiol.*, 1974, vol. 27, n°6, p. 1098-1104.
4. STARR S.E., KILLGORE G.E., DOWELL V.R. - Comparison of schaedler agar and trypticase soy-yeast extract agar for the cultivation of anaerobic bacteria. - *Appl. Microbiol.*, 1971, vol. 22, n°4, p. 655-658.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	<n>回分の試験を含む

(問い合わせ先)

製品関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

バイオメリュー・ジャパン株式会社

TEL: 03-6834-2666(代表)

*本添付文書は、下記Webサイトからダウンロードできます。

<http://www.biomerieux-jp.net/>

バイオメリュー・ジャパン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux SA

376 Chemin de l'Orme

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>



BIOMÉRIEUX

The logo is a registered and protected trademark of bioMérieux sa or one of its subsidiaries.